

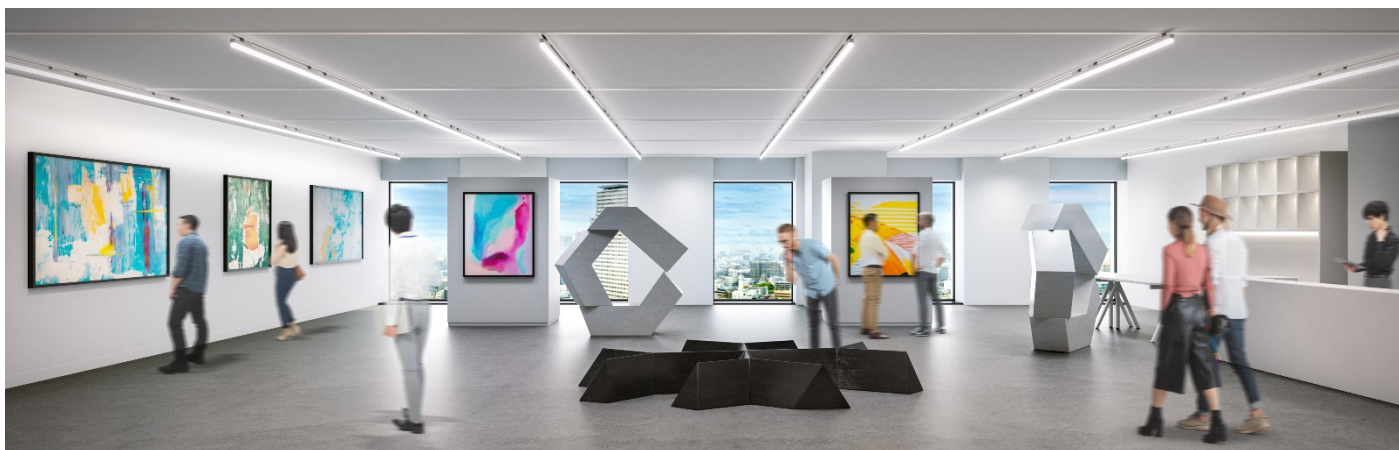
「アート思考」で仕事と人生を広げ、豊かな未来を共創するプラットフォーム
『マイナビアートスクエア』 歌舞伎座タワーに7月オープン

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明、以下マイナビ）は、多くの方々の仕事・人生の可能性を広げ、豊かな未来を共創することを目的とし、近年ビジネス分野で注目の高まる「アート思考」を入り口に、生活者・企業・アーティストが集い、繋がるプラットフォーム『MYNAVI ARTSQUARE（マイナビアートスクエア／略称：MASQ）』を、2023年7月、歌舞伎座タワー22Fにオープンします。



であう。つなぐ。ひろがっていく。

M Y N A V I
A R T S Q U A R E



最新事情や今後の企画内容や施設に関する情報は下記公式サイトで順次公開予定

<https://artsquare.mynavi.jp/>

『マイナビアートスクエア』は、人々の想像力を喚起し、共感や考察へと導くアートの力を通して、多くの方々の可能性と人生を広げていくことを目的に、アーティストはもちろん、学生やビジネスパーソン、企業、教育機関とアートとの出会い、繋がりを後押しする施設です。

本施設では、近年の大きな社会変化とそれに伴う価値観の急速な多様化を背景に、これまで以上に人的資本の向上が求められる中で、既成概念や固定観念にとらわれず、顕在化していない未来の課題を見つけるための思考法として注目の高まる「アート思考」を入り口に、若年層からビジネスパーソンまで参加でき、キャリア形成に役立つナレッジやスキルを習得できるプログラムを提供。さらに現代アートを起点として多岐にわたる文化が内包されたテーマを持つ作品の展示などを予定しています。

マイナビ及び『マイナビアートスクエア』は今後、日本の文化・芸術の発信地である歌舞伎座・新橋演舞場などを有する東銀座エリアとも連携し、より多くの方々に芸術・アートの力に触れて頂き、仕事や人生を広げていく様々なコンテンツを提供すると共に、近年成長する国内アート市場の更なる発展を後押ししてまいります。

【『マイナビアートスクエア』事業責任者コメント】

「アート」・「アート思考」が、機械や AI では代替できない、

私たち人間の持つ潜在的かつ無限の可能性を広げる、唯一無二の重要なファクターに

当社は、これまで半世紀に亘り、多様な企業の HR 領域において、多くの人と人、そして企業と企業のご縁をつないでまいりました。今回我々が新たに繋ぐのは「アート」です。当社は「一人ひとりの可能性と向き合い、未来が見える世界をつくる。」を新たなパーパスに掲げております。そしてそんな一人ひとりが持つ可能性、機械や AI では代替できない、私たち人間の持つ潜在的かつ無限の可能性を広げる唯一無二の重要なファクターとなるのが「アート」であり、その力をより多くの方に活かすことができる手段が「アート思考」だと考えております。『マイナビアートスクエア』では今後、より多くの方々の人生を一層豊かに自由に導く、“アート×異業種”のバラエティーに富んだプログラムをご提供してまいります。

株式会社マイナビ 執行役員 落合和之



歌舞伎座タワー外観 <提供：松竹(株)・(株)歌舞伎座>

【『マイナビアートスクエア』について】

歌舞伎座タワー22Fに新設される『マイナビアートスクエア』では今後、若年層からビジネスパーソンまで参加が可能で、キャリア形成に役立つナレッジやスキルを習得できるプログラムの提供や、現代アートを起点として、多岐にわたる文化が内包されたテーマを持つ作品の展示を、ゲストキュレーター招聘のもと開催します。またその他にも、アートを通してキャリアや社会について考える様々な機会を提供する企画を開催していきます。

■スペース概要

運営：株式会社マイナビ

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目12番15号歌舞伎座タワー22F

オープン予定日：2023年7月

オフィシャルサイト：<https://artsquare.mynavi.jp/>

■ステートメント

人と人。
企業と企業。
マイナビはこれまで、
たくさんの縁をつないできました。

次につながるの、アート。

であらう。新しい作品やアーティストと出会い、
つなぐ。展示やセミナーを通して刺激が連鎖し、
ひろがっていく。その輪が東銀座から日本中、
そして世界へと広がっていく。

私たちは、
アートから得た刺激や気づきが、
仕事や人生の糧になると信じています。

■ロゴデザイン



マイナビアートスクエア 施設ロゴ



施設ロゴの成り立ち

施設名の『マイナビアートスクエア』には、施設が＜アート産業だけで閉じない場＞として機能し、またアイデアを提起するアーティストやキュレーター、レクチャー講師などの新たな才能を持つ人々を照らす場となるだけでなく、作品を見たり、情報を受け取った人に刺激が与えられ、そのインスピレーションが往来する、開かれた場所となる様にと願いがこめられています。

施設ロゴは、そのマイナビとアートが介在する＜スクエア＞の場が、アーティストや企業、来場者が出会う交差点としてイメージされるよう、デザインされています。

人と人、企業と企業など、半世紀にわたって多くの縁をつないできたマイナビが、『マイナビアートスクエア』を通して次につながるの、アートと人、アートと企業との出会い。新しい作品やアーティスト、その中にある“アイデア”と「であう。」、作品展示やセミナーを通して“刺激”を「つなぐ。」、その輪を東銀座から日本中、そして“世界へ”「ひろがっていく。」。そんな施設を目指しています。

【マイナビのアート分野での取り組みについて】

マイナビでは、2022年より新進のアーティストやアートマーケットを支援すべく、京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO（アーティストズ フェア キョウト）」へ協賛を行っています。本イベントが目指す“アーティストの可能性を切り開き、新しい一歩を踏み出すきっかけとなる”という主旨に共感し、同イベントにて、出品作品から特に優れた作品を選出するアワード「ARTISTS' FAIR KYOTO マイナビ ART AWARD」を開催しています。

こうした取り組みを通じて、新しい芸術の創造に取り組むアーティストの創作活動を支援し、日本現代美術の登竜門となることを目指していきます。

マイナビは今後も、アーティストやキュレーター、特定のコミュニティに限らず、芸術文化のエコシステムの内外で活動する人々を支援し成長を促すための取り組みを継続してまいります。